

ご 挨拶



公益財団法人 大阪体育協会
会 長 町 田 勝 彦

第67回国民体育大会は、冬季大会（スケート・アイスホッケー・スキー競技）が愛知県・岐阜県で開催され、本国体の『ぎふ清流国体』は、昨年に引き続き東日本大震災復興支援を掲げて、“輝け はばたけ だれもが主役”をスローガンに岐阜県を中心として開催されました。

大阪府からは、冬季大会に93名、本国体に645名、総勢738名の役員・監督・選手が参加し、全国から集った強豪と激しい戦いを繰り広げました。

その結果、体操競技・ラグビーフットボール競技・なぎなた競技での男女総合優勝、バスケットボール競技での女子総合優勝をはじめ、3競技で4種別優勝、8競技で16種目優勝を飾り、男女総合（天皇杯）では昨年同様5位、女子総合（皇后杯）では昨年の成績を下回ったものの6位と健闘いたしました。

反面、決勝戦で惜しくも敗退した競技や、上位進出を期待されたものの1・2回戦で敗退するなど、思うような成績を挙げられなかった競技もありましたが、来年の第68回大会での奮起を大いに期待したいと思います。

他方、大阪には、国体以外に競技毎の日本選手権や世界レベル大会で優勝を果たした選手、あるいは国体種目以外の競技で活躍された選手も沢山おられます。

例えば、武術太極拳は世界ジュニア武術選手権やアジア武術選手権で優勝され、スポーツチャンバラは世界選手権大会で種目優勝、スポーツバトンは世界バトントワリング選手権大会のジュニア部門で優勝を果たされました。

また、10月に高知県で開催された「日本スポーツマスターズ2012」においても、13競技に214名の方々が参加され、9種目で優勝、3種目で準優勝という輝かしい成績を収められました。

このように、大阪のスポーツ選手が、様々な場面で「大阪の力」をアピールして頂いていることは、大阪体育協会会長として大変心強く誇りに思うところです。

なお、この成績報告書は、昨年同様、第67回国民体育大会での成績と、それ以外の成績を併せて掲載しておりますので、監督・選手の皆さんにおかれては、今後の活動の励みにして頂ければ幸いです。

最後になりましたが、加盟団体・特別賛助会員様をはじめ、日頃から当協会をバックアップして頂いている多くの皆様に対しまして、本年のご協力に深く感謝をいたしますとともに、今後とも一層のご支援・ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます